

コミュニティ・スクールの準備状況

令和3年11月26日現在

学校運営協議会を設置した学校は、コミュニティ・スクール（以下「CS」という）と呼ばれます。これは、学校運営協議会を設置することで、学校は意見を積極的に学校運営に取り入れたり、地域の教育資源を生かした活動が展開できたりするようになるからです。

令和4年度、吉田町は、学校評議員制度に替えて、学校運営協議会制度を導入します。各学校は、学校運営協議会の設置に向けてそれぞれ準備作業を進めています。この度、その準備状況を把握するため、アンケート調査を実施しました。その結果を以下のとおり報告します。

1 学校運営協議会の人数と構成

学校	人数	構成
住吉小	7人	現在の学校評議員を基本に構成（自治会役員等）
中央小	5人	現在の学校評議員を基本に構成（自治会役員、PTA役員以外の保護者（元PTA会長）、民生委員児童委員等）
自彊小	6人	現在の学校評議員を基本に構成（自治会役員、PTA役員等）
吉田中	8人	現在の学校評議員を基本に構成（自治会役員、PTA役員、民生委員児童委員、教育委員会関係者、商工会関係者、地域おこし協力隊等）

学校運営協議会は、学校の基本方針の承認などの権限を持つ組織であるため、学校の状況を理解し、協議に参加できる委員が求められる。よって、各学校とも、学校の現状を理解している現在の学校評議員を基本に学校運営協議会を構成することを予定している。学校運営協議会は、上記の者に加え、校長とコミュニティ・スクールディレクターの2人が委員となる。

今後、各委員候補に学校運営協議会制度の説明を行い、委員就任を打診する。令和4年2月末までに各学校は委員候補の内諾を得て、3月末に推薦書を学校教育課に提出する予定である。

2 学校運営協議会の会議の運営方法について

学校	年間回数	会議で話し合う内容
住吉小	4回	授業参観を通して、児童について語り合う。 地域と連携した活動についての協議 学校評価についての協議
中央小	未定	

自彊小	未定	
吉田中	未定	

各学校とも、学校運営協議会の具体的な会議の内容（開催回数や時期、会議の進め方や議題）は、検討中の段階である。今後、学校教育課及び学校間で情報交換しながら、教育課程の編成作業に合わせて会議の内容を決定する。

3 CSディレクターについて

(1) 人選の状況

学校	状況	候補者	勤務形態	活動場所
住吉小	内諾を得ている	元自治会長	火、水、木の3日間、8:30~12:00で調整し週10時間	CSルーム(当面の間は職員室)
中央小	内諾を得ている	主任児童委員	週2~3日、1回2時間	会議室、1階空き教室
自彊小	内諾を得ている	元PTA役員、現読み聞かせボランティア	未定	放送室
吉田中	内諾を得ている	社会教育委員・元自治会長・元高校教員	週3日午前中勤務	職員室

(2) 学校がCSディレクターに期待する役割

学校	期待する役割	想定する具体的な業務
住吉小	・校長の経営方針を理解し、学校・家庭・地域の3者が共通理解のもと、住吉小学校の子供たちをよりよく育てていくために、学校や地域の課題を解決や授業での地域人材の活用等の連絡調整。	・学校運営協議会の運営に係る事務 ・業務報告書の作成と広報活動 ・年間計画の中で授業や学校行事における地域人材の活用について把握し、それぞれの活動に運営計画を立てる。 ・活動に協力していただく地域の方や関係機関との調整
中央小	・学校運営協議会の運営 ・外部との連絡調整 ・学校応援ボランティアの募集(教科学習、読み聞かせボランティア等) ・学校の状況の地域への発信(学	・学校運営協議会の企画、準備、運営 ・吉田探究での連絡調整 ・教科学習、読み聞かせボランティア等のボランティアの募集、連

	校 HP の充実)	絡調整
自彊小	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の企画、運営 ・学校と地域のつなぎ役 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の企画・運営、冊子の印刷 ・学校と地域のつなぎ役として、自彊っ子を語る会の企画
吉田中	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の質の向上を目指して、地域の「人・もの・こと」をつなぐ役割 ・地域とつながり、地域の情報を収集したり、学校の取組を発信したりする役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の計画、運営に係る業務 ・講師派遣や体験活動を依頼する際、先方との折衝（連絡）の窓口となる。 ・地域との連携活動として可能な「人、もの、こと」のリストを作成する。 ・業務報告書を作成するとともに、広報活動をする。 ・授業や学校行事における支援をする。 ・学校環境改善のためのボランティアを募集する。

各学校ともに、CSディレクター候補者に就任を打診し、その内諾を得ている状況にある。今後は、学校が期待する願いや姿に基づいて、勤務形態や活動場所、具体的な活動内容の検討を進める。

学校教育課は、CSディレクターに対して、今年度中から県教育委員会主催の研修会への出席を促すなど、役割の理解や資質能力の向上を図っていきたくと考えている。また、次年度以降もCSディレクターが情報交換したり、資質能力を高めあったりする機会や先進地視察、研修会を定期的に設定する。

なお、CSディレクターは、令和4年3月までに推薦書を学校教育課に提出し、4月から各学校に勤務する予定である。地域や保護者等には、予算の成立を待つて、周知を行う。

(3) CS運営に関わる校内体制について

学校	校内分掌	CSルームについて	
住吉小	設置する	準備する	1階雑庫
中央小	設置する	準備する	会議室、1階空き教室
自彊小	検討中	準備する	放送室（本年度中に改装）
吉田中	検討中	準備しない	—

小学校はCSに係る活動の拠点となる部屋を設置する予定である。CSディ

レクターはもちろん、学校運営協議会委員やボランティアなどが集うことのできる空間づくりを目指す学校が多い。

吉田中は、CSに係る空間を準備する計画はない。職員室でCSディレクターが執務を行い、会合等は別の部屋で行う予定である。

なお、CSに係る経費は、CSディレクターの人件費と年間2万円の運営経費を予算として計上している。CSルームの整備等の経費については、各学校の維持管理費で対応する予定である。

(4) 各学校が目指すコミュニティ・スクールの姿

学校	目指す姿
住吉小	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域の連携を目指し取り組んできた「住吉の子供を育てる会」「学校評議員会」を発展させ、地域を愛し、子供たちの成長を願う地域の方を巻き込みながら、地域人材を大いに活用し、住吉区全体で子供たちを育てるためのCSを整備する。 ・CSディレクターを中心とした地域とのつながりを生かして、地域の教育資源を発掘する。
中央小	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の良さを感じ、地域に誇りと愛着を持てる児童を育む学校 地域に児童が出ていきやすい環境（外部との交渉、見守り、企業とのコラボ）づくり。 ・気付いたときに環境整備する。
自彊小	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が気軽に立ち寄り、子供たちとの触れ合いが日常的に行われる学校。 ・地域と学校がwin-winの関係。 ・学校を地域に開く方法、地域の教育資源の発掘は、学校評議員と検討する。
吉田中	<ul style="list-style-type: none"> ・CSの理念、目的を十分理解した上で、職員と積極的にコミュニケーションをとりニーズに合った提案をする。 ・教育活動を地域に発信する術を模索する。